

こんな本を読んできました

私は仕事のときだけでなく私生活でもよくメモをとります。忘れっぽい性格なのです。この絵本を手にとったとき、心をつかまれたセリフがあります。「忘れるな。メモを するのを。」

うろおぼえ一家はなんでもうろおぼえ。「きょうは どうして、みんなおうちに いるんだっけ?」と、とぼけたセリフから物語は始まります。お休みの日、出かけることにした一家は、おとうさんのアイデアでそれぞれ行きたいところをメモします。メモがあればどこに行くか忘れません。ところが、行く先々でメモが消えてしまいます。

一家の愛らしいおとぼけに、読み手はツッコミを入れたり笑ったり。見返しの地図やメモ用紙の模様、喫茶店で注文した品などの仕掛けにも楽しいひとときを過ごせる絵本です。メモ刑事(でか)のポスターやグッズもお見逃しなく!



タイトル うろおぼえ一家のきょうじつ
作 出口 かずみ
出 版 理論社

呉市と関わりのある作家や事柄の 所蔵資料を紹介します。



タイトル 広島 鉄道・電車とともに
昭和30年代～40年代、懐かしの風景
著 ひろしま鉄道・路面電車を愉しむ会
出 版 南々社

郷土資料

2025年8月、広島駅の2階に路面電車が乗り入れました。広島の玄関口である広島駅の景観の変化をみて、これから先の未来に心躍らせた人もいたのではないのでしょうか? この本では、そんな変わりゆくヒロシマを、昭和30年代から40年代の鉄道のある風景を写した貴重な写真を通して振り返ります。

我が町、呉のことも載っています。海岸線を煙を噴き上げて走る蒸気機関車の姿はなかなか迫力があります。それから、昭和21年に完成した3代目の呉駅舎は瓦屋根の姿ながら、なんとなく私が通勤に使っている今の駅舎と既視感を感じます。現在、呉駅前が開発が始まり日々姿を変えています。

図書館も今年100周年を迎えます。見慣れた風景はいつか無くなってしまうのかもしれません。この本の写真を見ていると、何気なく見ている「いつもの風景」を今のうちに大切に心に留めておきたい気持ちと、「どんな世界になっているんだろう」と100年先の未来へ思いを馳せていきたい気持ちになります。

絵本会のご案内

【呉市立図書館開館100周年記念 プーさんのえほんかい(中央図書館)】

○10月 8日(水)10:30～11:00

◎10月25日(土)15:00～15:40

◎11月22日(土)15:00～15:40

○12月10日(水)10:30～11:00

◎12月20日(土)15:00～15:40

【呉市立図書館開館100周年記念 プーさんのはじめましてのえほんかい(中央図書館)】

○11月10日(月)・17(月)・24(月)10:30～11:00

(0歳児～2歳児対象の絵本会です。必ず保護者同伴でお願いいたします。) 絵本会こちらからログイン

